

No. 70 >>> Contents

第9回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール受賞者の概要

農林水産大臣賞受賞者は、五十畑茂・啓子夫妻に決定

.....一般財団法人大日本蚕糸会..... ①

●トピックス

若手養蚕農家との意見交換会を開催して

.....農林水産省生産局地域対策官付 地域作物第2班 課長補佐 西野陽子..... ③

新蚕品種「白繭細1号」との出会いから商品作りまで(1)

.....田口ゼミ 代表 田口隆男..... ⑤

カイコに始まる岡谷の学習活動 ～養蚕から製品づくりまで～

.....岡谷蚕糸博物館 ーシルクファクトおかやー 学芸員 林 久美子..... ⑦

●研究・技術情報

農業生物遺伝資源(桑)の現状と今後の展望

.....国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

基盤技術研究本部 研究推進室 西川智太郎

基盤技術研究本部 遺伝資源研究センター 山本伸一..... ⑨

●蚕糸・絹業団体情報

「蚕都上田の面影を現代に伝える ～上田市立博物館・市立丸子郷土博物館」

.....上田市立博物館 館長 和根崎 剛..... ⑪

●イベント情報..... ⑬

●一般財団法人大日本蚕糸会から

令和3年度貞明皇后研究助成採択一覧(7件)..... ⑮

2021年度第1次分の純国産絹マーク使用許諾状況..... ⑲

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧..... ⑳

活動日誌..... ㉑

●蚕糸絹関係博物館一覧..... ㉓

●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧..... ㉕

●統計資料(統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。)..... ㉗

第9回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール受賞者の概要

農林水産大臣賞受賞者は、五十畑茂・啓子夫妻に決定

一般財団法人大日本蚕糸会

第9回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールへの出品数は、養蚕農家が30点、農家団体が1点の合計31点であった。

審査については、新型コロナウイルスの影響による東京都の「まん延防止等重点措置」発令の直前での審査となったため、従来の会議室での審査会の開催に代えて、事前に審査書類を委員に配布した上でオンライン会議による審査を行い、この中から農林水産大臣賞1点、農林水産省生産局長賞1点、大日本蚕糸会会頭賞3点を選出された。

なお、5月14日（金）、蚕糸会館において開催予定であった表彰式は、「緊急事態宣言」下であるため、開催を延期することとした。

農林水産大臣賞

い か は た

五十畑茂・啓子夫妻（栃木県小山市）

五十畑夫妻は、養蚕と露地野菜に主力を置き、夏季は養蚕、秋季～春季はゴボウ、春大根の複合経営を行っている。養蚕では、年4回飼育、計1.6トンの繭を生産し、また、5年間の平均繭生産量は、平均1.9トンと安定した繭生産量を上げており、飼育に関しては、蚕室等消毒薬としてのホルマリンの使用中止に伴い、ポリリン酸ナトリウム等の混合液を率先して施用するなど様々な工夫を行い、養蚕の省力化と蚕作の安定を図っている。



農林水産大臣賞 五十畑茂・啓子夫妻

茂氏は、栃木県の名誉農業士（養蚕）、小山市の認定農業者であり、二期にわたりJAおやま養蚕部会長を歴任し、啓子さんもJAおやま養蚕女性会の役員として活躍している。また夫妻は第3回コンクールで生産局長賞を受賞しているが、本会新規事業者支援事業における研修受入農家として、後継者の視察、研修を受入れ、積極的に養蚕技術指導を実践しており、さらに高度な養蚕技術を取り入れた複合経営は安定していることから、前回受賞時より格段の進歩が見られる。

農林水産省生産局長賞

藤田久男・うめ夫妻（栃木県那須郡那珂川町）

藤田夫妻は、養蚕、稲作、キノコ栽培の複合経営の中で、繭収入の割合が粗収入の

85%を占め、養蚕中心の経営を行っている。養蚕については、年4回の蚕飼育で1トンの繭生産を上げている。特に春蚕、夏蚕の生糸量歩合は25%、解じょ率90%以上と極めて品質の高い繭を生産している。また、その生糸は高級着物の原材料として利用されている。

桑園管理においては、地域、気候に合わせた2品種を導入し、収穫には条桑収穫機を利用し省力化を図っている。上簇作業の際には、尿取器の他高分子ポリマーシートを利用して、繭の汚染を防ぎ、また窓、出入り口に遮光カーテンを張り、栃木式風洞簇管理法により上簇中の温度を適切に管理し、湿度管理にも配慮し、解じょ率の極めて高い繭生産を実現している。さらに、夫妻は製糸会社に出向き、積極的に選除繭の研修を受講し、生糸量歩合、解じょ率の高い繭生産により、単価当たり的高額繭代の実現など、工夫と努力により経営の安定と向上に努めている。

大日本蚕糸会会頭賞

^{さかり}**佐藤 盛・康子夫妻（岩手県一関市）**

佐藤夫妻は、養蚕、稲作及び菌床椎茸生産の複合経営農家で、養蚕については、年4回の飼育を行い、繭生産は580kg。粗収入に占める繭収入の割合は27%ですが、高品質の繭生産を行っている。特に育蚕及び上簇中の温度管理を徹底することにより、高い解じょ率を維持して、高繭単価につなげ、安定した養蚕経営を行っている。そして、その生糸は高級呉服地の原料として利用されている。

このように、安定した養蚕経営を実践するとともに、JA養蚕部長として地域の指

導的役割を果たし、提携グループ中で欠かせない養蚕農家である。

大日本蚕糸会会頭賞

^{じん}**黒澤 仁・真佐子夫妻（福島市飯野町）**

黒澤夫妻は養蚕及び稲作の複合経営農家で、経営的には繭収入の割合が粗収入の85%で、養蚕中心の経営を行っている。蚕飼育は年5回行い、繭生産量は年間1.3トンと、高い生産量をあげている。夏蚕期から晩秋蚕期にかけて気候（高温）の影響により蚕飼育及び上簇環境の悪化が懸念される中、箱当たり収繭量が前年度を上回ったことは夫妻の飼育技術の高さを示すものである。

黒澤夫妻はそれぞれJA養蚕部会及び地区女性部の役員として地域の養蚕振興、地域活性化に大きく貢献しており、地域の模範農家となっている。

大日本蚕糸会会頭賞

^{ひろお}**浅井 広大・香夫妻（群馬県富岡市）**

浅井夫妻は、夏季は養蚕、冬季は下仁田ネギ栽培の複合経営農家で、繭収入の割合が全体の58%で、養蚕が経営の中心となっている。蚕の飼育は年5回で、年間の繭生産量は860kg。浅井氏は、平成28年に地域おこし協力隊として、養蚕に参入、令和元年から生産拠点を富岡市に移し、令和2年には新たな蚕室を建設、大型空調機を導入し養蚕の規模拡大と繭質の向上に積極的に取り組んでいる。その結果、繭生産量が前年比189%増となり、夫妻の養蚕に対する意欲と活動は高く、また、当該地域において若手農家として、今後の活躍が期待される。

若手養蚕農家との意見交換会を開催して

農林水産省生産局地域対策官付

地域作物第2班 課長補佐 西野陽子

1. はじめに

我が国の養蚕農家数は、農家の高齢化や後継者不足等により、減少傾向です。しかし、このような状況下でも、若手で意欲を持って養蚕業を新たにスタートする農家の方々もいます。そこで、このような若手養蚕農家が希望をもって養蚕業を継続・発展していけるよう、(一財)大日本蚕糸会、群馬県の協力の下、オンライン意見交換会を開催しましたので、その概要をご紹介します。

2. 第1回意見交換会

2月に開催した第1回意見交換会には、全国5県から7名の若手養蚕農家さん、ゲストには日本橋で130年以上、組紐を営んでいる(株)龍工房の福田隆太氏に参加していただきました。

まず福田氏から、他の企業と連携した新

しい組紐の活用例や新型コロナウイルスへの差別解消を目指すシトラスリボンプロジェクトに関する取り組みなど、新分野での挑戦を中心にお話ししていただきました。さらに、その中で、国産繭を使ってモノづくりをしている立場ならではの国産繭に対する想いについてもお話しいただき、参加者の皆さんも普段は聞けない夢の膨らむような話を楽しそうに聞いているのが印象的でした。

その後、参加者全員で、養蚕の幼児教育への活用や家族経営ならではの苦労と乗り越え方などについて意見を交換しました。第1回ということで参加者の皆さんの顔合わせが目下の目標でしたが、様々なことを意見交換することができ、参加者からも「顔を合わせる機会のない養蚕農家さんと話しができて、楽しかった!」という率直な感想をいただきました。



3. 第2回意見交換会

4月に開催した第2回意見交換会には、全国5県から6名の若手養蚕農家さん、ゲストには蚕糸科学技術研究所の持田氏、野澤氏に参加していただきました。

前半は、若手養蚕農家の芦澤氏と二上氏が「副産物の販売経路多角化」、「養蚕のSDGsとエシカル消費」についてプレゼンし、参加者の皆さんに新たな気づきを与えてくださいました。参加者からは、「繭を出荷する以外にも養蚕をもっと広く見てみようと思った。養蚕をするのがますます楽しくなった！」という感想や「今回の意見交換会の枠に留まらず、今後も議論したい」という前向きな意見をいただきました。

後半は、「効率的かつ高品質繭生産に向けた飼育方法」をテーマに、糞尿処理や桑の収穫方法、猛暑対策などに関して、知識や意見の交換をするとともに、蚕糸科学技術研究所のお二人からは研究発表に基づく技術的なアドバイスをいただきました。研究者から直接アドバイスをいただける貴重な機会ということもあり、参加者の皆様から多くの質問をいただき、質問者の方々の表情からは、養蚕に対する熱い思いを感じる時間になりました。

第1回に比べると、事務方である我々も含め参加者の緊張がほぐれたようで、時には笑い声を交えながら話すことができ、あっという間に時間が過ぎたように思いました。また、皆さんの言葉の端々から、「養蚕が好き」という気持ちが伝わり、その気持ちで参加者同士が繋がったように感じました。



組紐マスクバンド

4. 終わりに

本意見交換会は、まだ始まったばかりです。今後も、若手養蚕農家さんに、「参加して良かった」と思ってもらえるような会を企画したいと思います。参加いただいた若手養蚕農家の皆さん、ゲストの福田さん、野澤さん、持田さんにおかれましては、お忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございました。

また、意見交換会をきっかけに、ゲストの福田さんと生産者の方が繋がり、国産繭を用いた新たな製品（組紐マスクバンド）が誕生したという嬉しいニュースも届きました。今後も、様々なところで、新たな繋がりが生まれることを期待しています。

第3回については、7月末頃を予定しております。本稿をお読みいただき、ぜひ参加したいという若手養蚕農家さんがいらっしゃいましたら、以下の担当までご連絡いただけますと幸いです。（参加するには、オンライン会議が可能な環境が必要です。）

■ 問い合わせ先：

農林水産省生産局地域対策官付
西野、田尻

TEL：03-6744-2117（直通）

新蚕品種「白繭細 1 号」との出会いから商品作りまで（1）

田口ゼミ

代表 田口隆男

1975 年（昭和 50 年）私は(株)三越に入社、日本橋店呉服部に配属され、その後 2021 年（令和 3 年）3 月に(株)三越伊勢丹を退社するまでの 46 年間をほぼ一貫して呉服に携わってきました。その中で「白繭細 1 号」というカイコを取り扱いさせていただき、きものや和装小物、洋装のジャケットまで様々な商品を作成してきました。今回は蚕種製造、養蚕農家、製糸、製織、販売会社などいわゆる川上から川下まで新蚕品種「白繭細 1 号」に携わった方々の一部を 2 回にわけて紹介いたします。

<はじめに>

店頭でお客様から、最近のきものはすぐにシワになる、シワが目立つ、きものを着た後ハンガーにかけてもシワが取れにくいなどのご指摘を何回か頂戴することがあり、製糸、撚糸、染色、製織の方法、または絹糸そのものなのか、その原因を調査したいと考えていました。

2006 年（平成 18 年）12 月蚕業技術研究所を訪問するチャンスに恵まれ、そこで繭糸の細い蚕品種が 10 年以上の歳月をかけて、開発されたという話を伺いました。

<白繭細 1 号の誕生>

1990 年（昭和 55 年）蚕業技術研究所の阿相敏雄技師長、田中幸夫副所長、常山泉主任研究員が協力しあい、「あけぼの」の原種を使って改良を始め、10 年以上をかけ、2006 年に白繭細 1 号を完成。純系分離法で改良を続け、「あけぼの」の良さである「色合い」「細繊維度」を引き継いでいます。日本種×中国種の四元交雑種であり、繊維度は 2.39 デニール、長さは約 1,300m です。2007 年（平成 19 年）春から三越で採用させていただくことになりました。

ブランド名を「三煌（さんこう）」と命名。養蚕農家、製糸・製織・小売、顧客の三者が煌^{かがや}き続けるようにとの思いから命名しました。

阿相氏は白繭細 1 号の完成を見届けたのち病に倒れ、絹糸が製品になるのを目にするこ
となく亡くなりました。後日、阿相氏が(財)大日本蚕糸会貞明皇后記念蚕糸科学賞を授与された日、代理出席された奥様が三越に来店され、白繭細 1 号で出来た白生地をお買い求めになりました。阿相氏が見届けることができなかつた白生地を奥様が大事そうに手に持たれた姿が昨日のようにおもいだされる感動のシーンでした。我々も阿相氏の思いを継いでこの白生地を販売していこうと決意した瞬間でもありました。

＜蚕業技術研究所＞

実際に訪問したことでカイコを飼育することの重要性や難しさを実感しましたが、特に原原種を絶えず作るということが、いかに重要なかが理解できました。明治時代から現在に至るまで戦争中でも毎年、昆虫であるカイコを繁殖させることの難しさは実際に携わらなければわかりません。同じ原種でも一番遺伝的に遠いもの同士をかけあわせて新たな原種を作り続ける根気のいる仕事です。また、指定した時期にカイコを誕生させるためには卵を希塩酸に漬けます。塩酸の希釈率、温度、時間まで先達の教えの凄さを実感しました。なぜ希塩酸に卵を漬けると発生時期がコントロールできるのかは現在でもその仕組みはわからないそうです。

＜養蚕農家＞

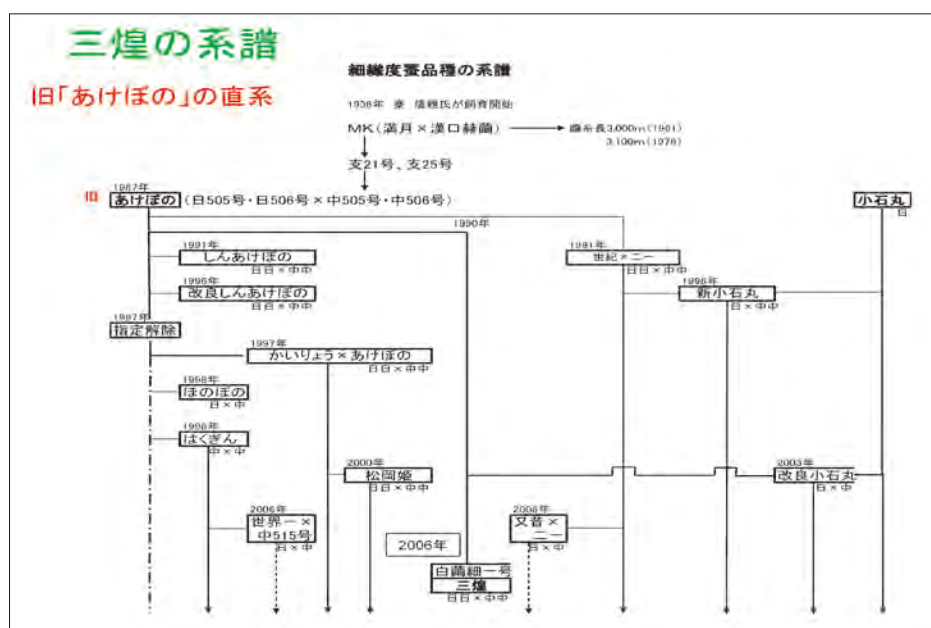
「三煌」は長野県上伊那や飯田で飼育されています。カイコを飼育するための自然環境が良好でカイコを飼育するノウハウも長い歴史の中で培われている地域です。経



割愛に挑戦する筆者

験豊富な養蚕農家の方は自分たちが育てたカイコが糸になり、それが白生地になることは知っていても、自分が育てたカイコの糸からできた白生地を見たことはないという事なので、三煌の白生地を養蚕農家に持っていき、実際に手で触れてもらいました。養蚕農家の方の表情はうれしさで何とも言えないものでした。経験豊富な養蚕農家の方が愛情込めて育てたカイコなので素晴らしい糸を作ってくれていることを確信した瞬間でもありました。

（団体名、役職名は当時のものである）



蚕業技術研究所作成図を改図

カイコに始まる岡谷の学習活動

～養蚕から製品づくりまで～

岡谷蚕糸博物館 ーシルクファクトおかやー

学芸員 林 久美子

岡谷蚕糸博物館では国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構や（株）高原社から蚕種のご協力をいただき、毎年カイコの飼育を行っています。当館では岡谷市内の全保育園・小中学校はもとより、市外の様々な保育園・小中学校と連携しながら50年以上もの長きにわたり、時代に応じた学習活動を行ってきました。

生糸を生産する製糸業は、明治・大正・昭和初期、我が国の近代化を推し進めた主要産業です。その一大生産地であった岡谷には、その姿が随所に今なお存在し、子どもたちは学年に応じてカイコに触れることで、生き物に接し、地域を知り、歴史を学び、産業を見つめ、そして、思考する学習へと展開しています。

学習内容は大きく分けて「養蚕」「製糸」「歴史」「製作」があり、担任の先生の方針でそれらを組み合わせ、多種多様な学習活動が可能となります。

その活動の概要をご紹介します。

1. 養蚕 「お蚕さまを飼う」

子どもたちは、クラス単位や個人でのカイコの飼育を行いながら、最初は恐々としながらも徐々にその思いは愛着に変わっていきます。自然と「お蚕さま」と子どもたちの口から出てくるようになるのが、この学習の不思議なチカラです。



写真1 3人1組で宮坂製糸所の上州式繰糸機での生糸づくりのようす（岡谷市立川岸小学校6年1組）。この日、3,000個の繭がおおよそ1kgの生糸となった。

そして出来た繭は、保存と利用のために、繭の中に蛹がいる状態で命を止めてしまわなければなりません。生きとし生けるものを扱う産業の宿命に戸惑い、迷いながらも「命をいただく」という選択をする子どもたちの葛藤は、この学習ならではの貴重な「命の学習」となります。

この学習の中で得た豊かな観察眼は、作文や詩などの国語学習、絵画や版画など感性あふれる作品となって表現されます。

2. 製糸 「糸づくり」

「お蚕さま」の作った繭はどのくらいの長さがあるの？という疑問は、実際に1,500mの糸の長さ調べを行ったり、昔ながらの

丑首や座繰り器などで繰糸する体験へと展開します。また岡谷蚕糸博物館に併設する（株）宮坂製糸所で稼動する製糸工場の見学を行うことで産業の姿を見ることが出来ます。これは実際に繭に触れ、生糸を触り、製糸業の匂いや糸枠の回る音を聞き、製糸業を五感で体感できます（写真1）。

また、先人たちが奮闘努力を重ねた生糸を生産する道具や機械の変遷も博物館見学によって直に見ることができます。

3. 歴史学習 「先人の来た道を知る」

岡谷の製糸業に関わる歴史学習はもちろんのこと、諏訪式繰糸機を開発した武居代次郎、日本一の製糸家の片倉兼太郎など、地域が誇る先人のことを学ぶと、子どもたちの口から自然に「スゴイ!」と出てきます。これは故郷への誇りへと繋がる言葉でもあります。

また、岡谷には経済産業省認定の製糸業に関する近代化産業遺産が15箇所あり、地域巡りも積極的に行っています。

「ひと・もの・こと・ところ」を知るこれらの学習は、先人たちの発想や思い、苦悩や決断を知ることとなり、歴史から今を生きる私たちへの大いなる示唆ともなります。

4. 製作 「ものづくりへと繋がる学習」

自分たちの育てたカイコの繭から生み出される作品は、繭人形、卒業式のコサージュ、糸づくりからのランプシェード、染めや織りや真綿など、変幻自在にシルク製品へと変わります。これは単なる工作にとどまらないものづくりです。

昨年度、岡谷市立川岸小学校6年1組では、コロナ禍に不可欠なマスクをシルクで製作しました。子どもたち自身で3,000頭



写真2 自分たちで育てた繭、自分たちで作った生糸からできたシルク生地を、自分たちで縫製してシルクマスクに仕上げる（岡谷市立川岸小学校6年1組）。

の養蚕を教室で行い、宮坂製糸所の上州式繰糸機で生糸づくりをしました。製織は依頼しましたが、9.7 mもの絹生地からミシンを用いて縫製をし、約100枚のシルクマスクを仕上げました（写真2）。

このような、養蚕からものづくりまでの一貫した学習活動が行えるのも、「糸のまち岡谷」ならではの学習活動です。

まとめ

岡谷のカイコに始まる学習活動は、教科の垣根を超え、昆虫の科学的な生態理解はもちろんカイコを育てる養蚕技術、日本の近代化を築いた製糸技術、ものづくりの創造性や楽しさなど多様な事例を組み合わせることができます。これは、未来の社会を担う子どもたちの学習として主体的・対話的な深い学びを内包する学習でもあります。

私たち岡谷蚕糸博物館は、今後も学校と連携を深めながら、生きた学習として「歴史に学び未来を思考・創造する」博物館活動を進め、シルクの魅力を伝えていきたいと思っています。

農業生物遺伝資源（桑）の現状と今後の展望

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

基盤技術研究本部 研究推進室 西川智太郎

基盤技術研究本部 遺伝資源研究センター 山本伸一

ジーンバンクの桑遺伝資源

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構では、基盤技術研究本部遺伝資源研究センターがセンターバンクとして運営を行う農業生物資源ジーンバンク事業を実施しており、桑遺伝資源の保存・配布を行っている。保存は茨城県つくば市で専ら行っており、^ほ圃場や温室における株での保存のほか、超低温保存法による保存を行っている。

桑遺伝資源の内容

ジーンバンクの桑遺伝資源は、養蚕での利用を目的として収集・保存されているが、近年育成された、果実利用を目的としたポップベリー等の品種も保存されている（ただし育成者権が有効であるため非公開）。2021年4月現在、ジーンバンクには約1,400点の桑遺伝資源が登録されており、「一ノ瀬」や「はやてさかり」等の主要品種を含むカラヤマグワ（約310点）のほか、日本で利用があるヤマグワ（約570点）及びログワ（約360点）の保存が多い。また、これら遺伝資源には育成系統のほか、国内外の約780点の在来種、約110点の野生種を含んでおり、幅広い遺伝的多様性

を保有する国内で無二のコレクションであると言える。

桑遺伝資源の情報提供・配布

ジーンバンクでは、これら桑遺伝資源の情報及び配布について、インターネットを通じて案内を行っている（https://www.gene.affrc.go.jp/index_j.php）。情報を検索することができる遺伝資源は配布が可能であるものに限られるが、ご興味を持たれた方は是非参照されたい。

桑遺伝資源の保存

桑のような樹木の品種・系統は遺伝的なヘテロ性が高いものが大半を占めるため、種子繁殖によらず、主に挿し木、接ぎ木や取り木など、その特性を保つことのできる無性的な手段により繁殖する。このような作物を栄養繁殖性作物と呼ぶ。栄養繁殖性作物は種子で保存することができないため、通常は圃場で栽培して保存される。しかしながら、圃場保存には広い圃場と多くの管理作業が必要で維持コストが大きい、病虫害や自然災害による滅失の危険が常に伴うなど、長期保存が困難になる場合があ



図 1：桑遺伝資源のつくば市圃場での保存状況

る。そのため、異なる場所や手法などを利用して二重保存を行うことが望ましい。農業生物資源ジーンバンク事業では、桑遺伝資源の二重保存の一環として超低温保存法を採用してバックアップ保存を行っている。超低温保存法では -135°C 以下の液体窒素タンク等に遺伝資源を保存するため、スペースが少なく済む、保存後の管理の手間が少ない、遺伝的安定性が保たれる等の利点があり、長期安定的に保存できる唯一の方法と考えられている。

超低温保存の取り組み

農業生物資源ジーンバンク事業では、まずクワの休眠芽（冬芽）の緩速予備凍結法による超低温保存法を開発した。冬季に枝を収穫し、冬芽を切り出して部分乾燥してから、冷凍庫で -5°C から -20°C まで一日 5°C ずつ温度を下げたのち、液体窒素タンクに直接入れて保存する。耐寒性のある冬芽を形成する温帯産の品種・系統について、この手法を用いて 2008 年度までに



図 2：液体窒素タンク内の桑遺伝資源保存状況（冬芽）

約 1,280 点を気相の液体窒素タンク中（約 -170°C ）に保存した。また、冬芽を形成しない熱帯、亜熱帯地域から導入した品種・系統については、側芽から培養系を作出し、当センターにおいて考案したアルミニウム製のクライオプレートを用いた超低温保存法を開発した。この手法では約 1.5mm 程度に摘出した培養植物体の茎頂を前培養してからクライオプレートにアルギン酸ナトリウムで固着し、高濃度のショ糖を含む溶液で脱水耐性付与処理を行い、植物ガラス化液で脱水処理をしたのちに液体窒素に浸漬して保存する。これによりこれまでに約 40 点の遺伝資源を保存している。

■ 問い合わせ先：

農研機構 遺伝資源研究センター

ジーンバンク事業技術室

〒 305-8602

茨城県つくば市観音台 2 丁目 1 番 2 号

E-mail: genebank@naro.affrc.go.jp

TEL：029-838-7467

FAX：029-838-7054

「蚕都上田の面影を現代に伝える ～上田市立博物館・市立丸子郷土博物館」

上田市立博物館

館長 和根崎 剛

上田地域と蚕

上田盆地の降水量は年間 900mm 前後と、本州では一番雨が少ない地域です。こうした気候が蚕の生育に適していたこともあり、江戸時代後期には、上田は日本有数の蚕種（蚕の卵）製造地となりました。また、常田館製糸場（重要文化財）をはじめ、製糸結社「依田社」など、市内にはたくさんの製糸場が稼働し、長い煙突から立ちのぼる煙が途切れることがなかったといえます。

そうしたなか、信越本線には明治 29 年（1896）に日本初の請願駅・大屋停車場が開業、続いて北塩尻停車場が新たに設けられ、出荷の利便性が増したことにより、蚕種・生糸は列車で横浜に運ばれ、欧米へと輸出されました。

また、明治 25 年（1892）には日本初の蚕業学校である小県蚕業学校（現在の長野県上田東高等学校）、明治 43 年（1910）には国立上田蚕糸専門学校（現在の信州大学繊維学部）が開校し、三吉米熊ら優れた指導者や多くの学生が集まり、上田の蚕糸業を活気づけました。こうした蚕糸業の発展が築いたまち・上田はいつしか「蚕都」と呼ばれるようになります。

上塩尻の蚕種業を中心に ～上田市立博物館

上田市上塩尻地区は、江戸時代後期から蚕種業が盛んで、文政 10 年（1827）に藤本善右衛門昌信が「又昔」と野生の「クワコ」から「黄金生」を、弘化 2 年（1845）には善右衛門縄葛がウジバイの害にかかりにくい「信州かます」を交配・育成するなど、優良蚕種の製造と普及の伝統のもと、藤本を中心に品種改良の協同態勢を早くから取り入れ、日本有数の蚕種製造地として発展しました。市立博物館ではこうした品種改良のための標本「藤本蚕種株式会社繭標本（市指定民俗文化財）」のほか、市内で行われていた養蚕、蚕業学校、そして「上田縞」「上田紬」の関連資料などをご覧いただくことができます。



図 1 「藤本蚕種株式会社繭標本」上田市立博物館蔵

丸子の製糸工場の繁栄を語る資料 ～市立丸子郷土博物館

明治22年（1889）に下村亀三郎が依田川沿いに器械製糸場を開業、翌年には製糸結社「依田社」を設立します。これが、経営基盤の弱い個々の製糸場が共同で繭を仕入れ、製品の品質を統一して販売することが可能な仕組みとして成功し、さらにアメリカの生糸需要に合わせることで経営を安定させ、全国でも有数の出荷量を誇る製糸結社となります。これにより丸子周辺は発展し、工場で働く人たちが増え、商店街が栄え、大屋停車場まで鉄道が敷かれました。生糸の取引に日本各地はもちろん、アメリカからも商人が集まり、活気にあふれました。そして、大正元年（1912）に丸子町が誕生、亀三郎が初代町長となりました。

丸子郷土博物館は、「製糸のまち・丸子」の歴史を伝える資料を多数展示しています。丸子地域の養蚕製糸に関する資料を中心とした展示のほか、「依田社」が全盛期を迎えた大正12年頃のアメ리카向け宣伝映画等の映像資料を収蔵・公開しており、これらは日本が製糸業で反映していた当時の様子を伝える貴重な資料です。



図2 丸子郷土博物館 展示室

博物館とまち歩きで「蚕都上田」の魅力を

ふたつの博物館では、近代以降、上田が蚕糸業で発展してきた歴史等をご紹介します。また、市内には旧常田館製糸場施設のほか、信州大学繊維学部講堂や上田蚕種協業組合事務棟、カネタの煙突など、「蚕都上田」の繁栄を伝える文化財がたくさんあります。また、郊外には養蚕が盛んだったことをうかがわせる、「煙出し」屋根のある和風建築がたくさん残っています。博物館とともにご覧いただくことで、「蚕都」の雰囲気をより一層感じていただけることでしょう。

■ 問い合わせ先：

上田市立博物館

〒386-0026

長野県上田市二の丸3番3号

上田城跡公園内

TEL：0268-22-1274

FAX：0268-23-5503

E-mail：hakubutukan@city.ueda.nagano.jp

上田市立丸子郷土博物館

〒386-0413

長野県上田市東内2564番地1

TEL：0268-42-2158（FAX とも）

E-mail：hakubutukan@city.ueda.nagano.jp

（上田市立博物館）

イベント情報

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ジャパンシルクセンター・各博物館では臨時休業やイベントを中止している場合があります。詳細は各WEBサイトなどでご確認ください。

●ジャパンシルクセンター

「宝絹×女子美 絹から生まれるトキメク刺繍」



宝絹 × 女子美

絹から生まれるトキメク刺繍

2021.8.2(月)～8.8(日)

10:00～18:00(2日 13:00～, 8日～16:00)

主催：提携グループ“絹を未来に”

会場：ジャパンシルクセンター

東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 1F TEL:03(3215)1212

貴重な純国産の宝絹を使用し、日本刺繍の魅力にあふれた
ブローチや帯留、数寄屋袋等の小物を販売します。

感染対策を講じております。皆様のおいでをお待ちしております。



●上田市立博物館 令和3年度夏季企画展

別所線復興記念「千曲川の赤い鉄橋と上田丸子電鉄の100年」—日本遺産認定1周年記念—

上田市域には、繭や生糸、人の輸送を担った鉄道（私鉄）が、大正7年（1918）から昭和3年（1928）までに5路線が設けられ、現在は1路線を除いて廃線となっています。今年100年を迎えた「蚕都上田」の鉄道の歴史について紐解きます。

〈会期〉7月17日（土）～8月29日（日）8:30～17:00（入館は16:30まで）

休館日：水曜日（8月11日・18日は開館）、8月10日（火）

〈主催〉上田市立博物館

〈会場〉上田市立博物館 〒386-0026 長野県上田市二の丸3番3号 上田城跡公園内

Tel: 0268-22-1274

<http://museum.umic.jp>

●岡谷蚕糸博物館 企画展

岡工 110 周年記念展「製糸業と諏訪蚕糸野球」

長野県岡谷工業高等学校は明治 45 年に平野農蚕学校として誕生し、製糸業の発展を支える人材を育成、地域に大きく貢献してきました。その歩みと、製糸業の発展を背景に大活躍した諏訪蚕糸野球部の資料を展示します。

〈会期〉 7 月 15 日（木）～11 月 14 日（日） 9:00～17:00

休館日：水曜日・祝日の翌日

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 ―シルクファクトおかや―

〈会場〉 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489

<http://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●シルク博物館

チャレンジ！かいこプログラム「かいこ教室」

「かいこ教室」では、小学生を対象に「かいこについて詳しく学ぼう！」というテーマのもと、かいこの種類や成長のようす、まゆや生糸、シルクの特徴などを楽しく学べます。各体験で完成させたワークシートや作品は、夏休みの自由研究にも使えます。

かいこの観察会・まゆ人形作り・博物館見学ツアー等の詳細は、ホームページをご覧ください。

〈会期〉 7 月 24 日（土）～8 月 9 日（月・振休） 9:30～17:00

休館日：月曜日

〈主催〉 シルク博物館

〈会場〉 シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町 1 番地 2 階

Tel: 045-641-0841

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>

●日本絹の里 特別展

夏休みこども展「学ぼうカイコ」

カイコの飼育量が全国一である群馬県。そんな群馬県にふさわしい施設として夏休みのこども達に、カイコの生態から飼育方法など、カイコのいろいろなひみつを紹介します。

〈会期〉 7 月 17 日（土）～8 月 30 日（月） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 特別展

「大竹夏紀展 Mount Penglai」

伝統的な染色技法である蠟けつ染に、染色アーティスト大竹夏紀さん独自の感性が加わることで創造されるアイドル、女神たち。ポップで愛らしいシルク現代アートをご紹介します。

〈会期〉 9月9日（木）～10月18日（月） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

令和3年度貞明皇后研究助成採択一覧（7件）

貞明皇后研究助成とは？

本会は、蚕糸絹に関する科学技術の研究及び発明並びにその応用を助長し、蚕糸絹文化の継承と蚕糸絹業の改良発達に寄与することを目的として、本会の総裁であられた貞明皇后の御名を冠した研究助成を毎年度行っています。

今年度は、下記の7課題について採択をしました。（助成総額 9,105,000 円）

研究題目 及び 研究概要（申請時）	研究代表者	助成金額
① クリッカブルシルク実用生産系統の性状調査と実証飼育	農業・食品産業技術総合研究機構 上級研究員 寺本 英敏	1,100 千円
クリッカブルシルクは任意の機能性を後付けでシルクに付加することができ、機能性繊維やバイオマテリアル等への利用展開が期待できる。しかし、従来の系統は小型で生産性が低く生糸品質も不十分であった。そこで昨年度の本助成においてクリッカブルシルク生産改良系統を育成した。本年度は改良系統と通常品種との交雑種について性状調査及び実証飼育を実施する。これによりクリッカブルシルクの普及促進のための試作品（反物）を製作するとともに、カルタヘナ法に基づく産業二種使用申請のためのデータを整備する。		
② カイコの雑種強勢研究に用いるゲノム配列情報整備	北海道大学 助教 佐藤 昌直	1,500 千円
カイコ実用品種開発において系統間の交配による雑種強勢が中心的な役割を果たしてきた一方、カイコにおける雑種強勢に関する分子生物学的知見は得られていない。申請者は、北海道大学において現在も利用されており、昭和に高い普及率を誇った日124号×支124号を材料にカイコにおける雑種強勢機構の解明に着手したい。そこで本申請研究では、日124号×支124号のゲノム配列情報を収集し、交配後代の遺伝学的解析を可能とする情報を整備する。		
③ ゲノム編集を活用した実用蚕品種に対する広食性形質の付与	群馬県蚕糸技術センター 技師 滝沢 俊介	1,500 千円
人工飼料育は、蚕の摂食性が悪いと収量が下がることや、飼料コストが高いことが課題である。これまで、広食性の蚕が確認され品種化されてきた。広食性の蚕は人工飼料を良く摂食し、低コスト人工飼料で飼育が可能である。最近、味覚に関する遺伝子をノックアウトすると広食性の形質が発現することが報告されたが、他の形質に影響を及ぼすか調査されていない。本研究はゲノム編集を活用して実用蚕品種の目的遺伝子をノックアウトし、他の有用形質に影響を及ぼさずに広食性の形質のみを付与できるか調査する。		

④ 絹のグラフト重合を用いた抗菌・消臭加工	群馬県繊維工業試験場 独立研究員 信澤 和行	1,478 千円
新型コロナウイルス感染症を機に始まったニューノーマル社会での生活様式においては、シルク製品についても抗菌・消臭性能を付与することが強く求められている。しかしながら、機能的な薬剤を製品に加工する際のバインダー使用及び高温でのキュアリング工程等により、シルク本来の風合いや多くの優れた機能を損なってしまうことが課題であった。そこで本研究では、グラフト重合を利用した「バインダーレス、低温加工による高機能的付与」を可能にする加工技術を開立し、シルク製品への応用を図る。		
⑤ カイコ絹糸の品種および品質の分析法の開発と標準質量スペクトルの収集	農業・食品産業技術総合研究機構 主席研究員 梶原 英之	1,500 千円
質量分析によって繭及び絹糸の品種を判別する方法を開発し特許出願した。それに基づき、各品種の繭及び絹で得られた質量スペクトルをデータベース化し、マッチング解析によって品種判別を可能とするシステムを構築する。これまで不可能だった絹の品種判別を可能にすることで、国産繭の差別化に貢献する。さらに各品種判別の基礎となるペプチドの切断部位を調べ、物理的特性との相関を調べる。年代・品質推定の根拠となるアミノ酸酸化修飾を解明し、品質劣化の要因を探る。		
⑥ Enterococcus 属細菌の増殖を抑制する飼料組成の解明と抗菌剤無添加飼料の開発	農業・食品産業技術総合研究機構 上級研究員 平山 力	1,387 千円
現在、カイコの人工飼料には、細菌病の予防のために抗菌剤が添加されている。しかしながら、薬剤耐性菌の出現が世界的な問題となっており、今後その使用が規制される可能性がある。そこで、人工飼料育に特異的に発生する細菌性軟化病の原因菌 Enterococcus 属細菌のカイコ消化管内での増殖について解析を行い、本細菌の増殖を抑制するための飼料組成を明らかにする。また、食品添加物として認可されている抗菌活性物質等を用いて抗菌剤無添加飼料の作成を試みる。		
⑦ 休眠性実用品種に最適な遺伝子組換え技術の開発	農業・食品産業技術総合研究機構 主席研究員 米村 真之	640 千円
カイコの遺伝子組換え技術の制約は、胚発生が停止しない非休眠卵にしか行えないことである。そのため、非休眠性実験品種に一旦形成された遺伝子組換え形質を、その他計量形質の優れた休眠性実用品種へ交配によって転移させる必要がある。 本研究では、胚発生が停止する休眠卵を直接操作して遺伝子組換えを行うことを新機軸として、その実現のための新規技術を開発する。 達成目標は、休眠性であるためこれまで実施できなかった実用品種に対する遺伝子組換えを実用的なレベルで成功させることである。		

貞明皇后研究助成の応募方法等の詳細は、本会ホームページの「貞明皇后蚕糸記念科学技術研究助成について」を参照してください。

■次回 令和4年度 貞明皇后研究助成 年間スケジュール（予定）

募 集 期 間	令和3年12月1日～令和4年1月31日
選 考	令和4年4月下旬 蚕糸褒賞等選考委員会にて選考
助 成 決 定 の 通 知	令和4年5月上旬
研 究 助 成 実 施 期 間	令和4年5月1日～令和5年2月28日
助 成 金 の 支 払 い	令和4年5月下旬
実績報告書の提出締切	令和5年3月1日
助 成 金 額 の 確 定 作 業	令和5年3月上旬～中旬
研 究 成 果 報 告	令和5年4月下旬 蚕糸褒賞等選考委員会にて報告

2021 年度第 1 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの 2021 年度第 1 次審査委員会を 2021 年 5 月 28 日（金）に開催しました。今回の申請は 6 者で、新規申請者 3 者 3 品目、使用許諾されている 3 者のうち履歴の追加 2 品目、数量の追加 1 者 3 品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査した結果、6 者 8 品目に対し、6 月 4 日（金）付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(新規) (株) 長谷川 代表者名：長谷川浩一 (担当者：河崎保志) 〒 602-8453 京都市上京区元誓願寺智恵光院西入 元中之町 515 TEL：075-432-5111 表示者登録番号 239	先染反物 (西陣お召)	52 反	制作企画 (株) 長谷川 蚕品種 春嶺×鐘月 繭生産 JA につたみどり管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 染 色 (有) 山岸染色 製 織 粧織物(株)
(新規) 永見(株) 代表者名：永見吉平 (担当者：永見啓太郎) 〒 683-0063 鳥取県米子市法勝寺町 85 TEL：0859-39-1234 表示者登録番号 240	白生地 (表地(紋意匠))	30 反	蚕品種 ぐんま 200、錦秋×鐘和 繭生産 JA 甘楽富岡・JA おやま 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 製 織 戸田織物 精 練 丹後織物工業組合
(新規) 京都和装(株) 代表者名：塚本喜左衛門 (担当者：岩浅恵介) 〒 600-8385 京都市下京区大宮通高辻上ル五坊大宮町 93 TEL：075-841-0222 表示者登録番号 241	白生地 (表地(紋意匠))	20 反	蚕品種 ぐんま 200、春嶺×鐘月 繭生産 JA 甘楽富岡・JA おやま 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 製 織 戸田織物 精 練 丹後織物工業組合

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(履歴の追加) (株) すずのき 代表者名：高田陽一 (担当者：大田顕資) 〒 151-0053 東京都渋谷区代々木 1-30-7 ヤマノ 24 ビル 2 階 TEL：03-5308-5011 表示者登録番号 201	白生地 (表地 (紋意匠))	70 反	蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA たかさき管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 製 織 (株) アシヨネ 精 練 丹後織物工業組合
(履歴の追加) (株) やしま 代表者名：中須賀賢一 (担当者：中須賀賢一) 〒 730-0042 広島市中区国泰寺町 1-3-15 やしまビル TEL：082-543-2118 表示者登録番号 238	白生地 (表地 (紋意匠))	30 反	蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA たかさき管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 製 織 (株) アシヨネ 精 練 丹後織物工業組合
(数量の追加) (株) 高島屋 代表者名：村田善郎 (担当者：大西隆寿) 〒 542-8510 大阪市中央区難波 5-1-5 TEL：06-6631-1101 表示者登録番号 030	後染反物 (振袖 (紋意匠))	2 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 (株) 竹林 染色加工 (株) 千總
	後染反物 (振袖 (5 枚朱子))	3 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 篠春織物 (株) 染色加工 (株) 千總
	後染反物 (振袖 (5 枚朱子))	2 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 (株) 竹林 染色加工 (株) 千總

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。
純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2021 年度第 2 次：2021 年 8 月下旬

純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日：2021 年 7 月 21 日（水）

（連絡先）

〒 100-0006

東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

一般財団法人 大日本蚕糸会

担当：岡島、廣瀬、小林

TEL：03-3214-3500 FAX：03-3214-3511

E-mail：岡島：aokajima@silk.or.jp

廣瀬：hirose_takato@silk.or.jp

小林：kobaei@silk.or.jp

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 2021年6月4日（2021－第1次）現在

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物（振袖、訪問着、付下、色無地、色留袖、黒留袖、喪服）、胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物（色無地、小紋、付下、黒紋付）、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物（色無地）、胴裏（灰汁浸け加工）
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物（色無地、黒紋付）
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物（色無地、黒紋付）
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物（色無地）
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物（色無地、黒紋付）
010	(有) 樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物（色無地、黒紋付）
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物（作家作品）、後染帯地、先染反物（大島紬、結城紬、御召、作家作品）、先染帯地（織九寸帯、織角帯、作家作品）、白生地、和装小物（帯締、羽織紐）、八掛、胴裏
012	河瀬満織物 (株)	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株) 結華	静岡県清水町	後染反物（色無地、黒紋付）
016	(有) 絹回廊	東京都中央区	後染反物（色無地）
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物（色無地、黒紋付）、後染帯地、白生地（表地）
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物（色無地、黒紋付）
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢 (株))	群馬県高崎市	裏地（胴裏（ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま 200、灰汁浸加工、トルマリン加工）、八掛、比翼地）、長襦袢地、後染反物（作家作品、紋付地）、白生地（世紀二一、上州絹星・ぐんま 200、新小石丸）、後染帯地（（冬物・夏物）：うるし糸が5%を超えるもの）、寝衣（うぶ着、おくるみ）、和装小物（袷紗）
022	宮階織物 (株)	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物（色無地、訪問着）、先染帯地（袋帯（草木染、唐織））
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物 (有)	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地（袋帯、名古屋帯）、先染反物（御召類）、後染反物（色無地）、先染帯地（袋帯：金銀糸が5%を超えるもの）
027	(有) 織道染塩野屋	京都府亀岡市	洋装品（マフラー、シャツ、ニット（ウォーマー、腹巻、手袋、靴下））
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物（江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地、訪問着、留袖、色留袖）、後染帯地、白生地（表地）
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物（色無地、黒紋付）
030	(株) 高島屋	大阪市中央区	後染反物（振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖）、白生地（長襦袢地、胴裏）、ニット（靴下）、風呂敷

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
031	(株) さが美	神奈川県平塚市	後染反物 (黒紋付 (冬用・夏用)、色無地)
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物 (色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物 (色無地、黒紋付)
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物 (色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物 (色無地、訪問着)、白生地 (表地、胴裏、帯地)、白生地 (表地 (天蚕糸交織))、白生地 (帯地 (天蚕糸交織))、婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物 (色無地、黒紋付)
038	(株) 榊屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物 (色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	柳 崇 (染織家 柳崇)	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	児玉京子 (染織家 児玉京子)	沖縄県竹富町	先染反物、先染帯地
044	草木染工房山村 山村多榮子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超える)、先染服地、ストール
045	手織りよおん 長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、ストール
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房 深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物 (紋組、緋)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒組))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)、白生地 (加賀友禅用)、先染着尺 (加賀友禅用)、和装小物 (帯揚げ)
060	田中種 (株)	大阪市中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地、すかし織着尺)、後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下、ネック&ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻、手袋、ピロケース、肌襦袢、ネックウォーマー)、真綿布団、ハーフケット、布団カバー
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物 (色無地)、胴裏 (パールトーン加工)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物 (色無地、黒紋付)
063	丸池藤井 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)、八掛
064	久保商事 (株)	京都市中京区	和装小物 (帯揚げ、半衿)
065	加賀グンゼ (株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋 (株)	京都市中京区	後染反物 (訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川 (株)	京都市下京区	和装小物 (帯締、帯揚げ)
069	(株) 紅輪 ((株) 紅輪 まるやま・京彩 グループ)	川崎市宮前区	後染反物 (色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
070	装いの道 (株)	東京都千代田区	白生地 (帯地、表地)、胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸)
071	(株) 高橋屋	岩手県一関市	胴裏 (灰汁浸加工)
072	おお又 (株)	大阪市旭区	胴裏 (灰汁浸加工)、ニット (靴下)
073	(株) 天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏 (ぐんま 200 (灰汁浸加工))、白生地 (表地)
074	(株) きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏 (パールトーン加工)
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏 (酵素精練)、白生地
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏 (酵素精練)
077	京和きもの (株)	神奈川県厚木市	胴裏 (酵素精練)
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏 (トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏 (酵素精練)
081	(株) 荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏 (酵素精練)
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏 (酵素精練)、後染反物 (小紋)
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏 (酵素精練)
084	(株) 登美屋	岩手県北上市	胴裏 (パールトーン加工)
085	(株) 川平屋	愛知県豊田市	胴裏 (パールトーン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
087	(株) 大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地 (胴裏、比翼地 (振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール、ネクタイ
089	(株) あきやま	宮崎県綾町	先染反物、洋装品 (ショール、マフラー)
090	藤井紋 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地 (表地)
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地 (表地)
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装品 (スーツ地、ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が 5% を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物 (色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締 (金銀糸が 5% を超えるもの)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物（色無地）、後染帯地
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物（色無地）、後染帯地
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物（色無地）
104	(有) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物（色無地）
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物（色無地、小紋（変一越、紋意匠））
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物（色無地）
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物（色無地、小紋（変一越、紋意匠））
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物（色無地、付下）
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物（色無地）
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物（色無地）
111	(株) 世さね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地（袋帯（金銀糸が5%を超えるもの）、九寸帯（金銀糸が5%を超えるもの）、絹九寸帯（金銀糸が5%を超えるもの））
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物（結城紬）、先染帯地（結城紬）
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール（天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド）
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物（色無地）
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏（酵素精練）、先染反物（結城紬）
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物（黄八丈）
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物（色無地）
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物（色無地、江戸小紋）、白生地（表地）
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物（結城紬）
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地（表地（色無地、訪問着））
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物（色無地、小紋、付下、訪問着）、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物（色無地）
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物（色無地）
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物（小紋）、ニット（靴下）
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏（酵素精練）
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地（表地用（紋意匠））
128	大門屋	福井県大野市	白生地（牛首紬）、後染帯地（牛首紬）、ショール（牛首紬）、先染反物（飯田紬）、白生地着尺（信州紬）
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物（帯揚げ、半衿）
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物（小紋）
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物（小紋）
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物（小紋）
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品（掛布団）
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣（長肌着、短肌着）
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物（小紋）
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物（小紋）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、褌、マフラー（手織り）
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物（小紋）
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物（小紋）
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物（小紋）、ニット（靴下）
142	五嶋 (株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏（トルマリン加工）、後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物（色無地）、後染帯地
146	宮井 (株)	京都市下京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠）、加賀友禅）
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物（色無地、小紋（変一越、紋意匠））
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品（スカーフ、ストール、トランクス）、パジャマ、袱紗
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
153	勝山織物 (株)	京都市北区	先染帯地（金銀糸が5%を超えるもの）
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物（型友禅、羽二重色無地）、先染反物（ジャガード織）
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、ショール
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物（小紋）
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品（ふとん、ふとんカバー）、洋装品（スーツ地、コート地、スカート地、シャツ、ワンピース地）、服飾品（スカーフ、ストール、ネックカバー、アームカバー、レッグカバー）
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地（胴裏）、和装小物（袱紗）、ネクタイ、帯地（白塩瀬）
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物（小紋）
162	福続織物 (株)	福岡市西区	先染帯地（本袋男帯、八寸名古屋帯）
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地（表地）
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地（表地）
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品（布団、膝かけ）、ショール
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））、ニット（靴下）
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
174	(有) 山田呉服店	長野県諏訪市	白生地（変り縮緬）、先染反物（大島紬）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、ストール
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (八寸名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット (腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物 (小紋 (変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏 (パールトーン加工)
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物 (小紋 (変一越))
185	マテリアル ローブ 磨	東京都練馬区	後染反物 (小紋 (変一越))
186	(株) せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、訪問着)、先染反物 (緋着尺)、後染帯地
187	(株) 三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地 (表地)、帯締、羽織紐、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、ジャケット地
188	青山きもの (株) (青山きもの学院)	東京都港区	白生地 (表地、夏物表地)
189	ニット青木 (株)	東京都品川区	ニット (スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー)
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物 (綾御召 (男物、女物)、市松綾御召 (草木染め)、もじり織 (草木染)、もじり織)、裏地 (紬八掛、駒八掛)、先染ストール (綾織草木染、もじり織草木染)
191	(株) リンクピース	福岡市博多区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
192	(有) 新宮 (きもの宮下)	宮崎県宮崎市	後染反物 (小紋 (変一越))
193	アトリエ I T O 伊藤峯子	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
194	遊生染織工房 築城則子	北九州市八幡東区	先染反物
195	杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染帯地
196	(株) 夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
197	(株) 嗟が野	埼玉県川越市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
198	(株) カインドウェア	東京都千代田区	ストール、ネクタイ
199	(株) 新田	山形県米沢市	後染反物 (ぼかし着尺)
200	(株) ソーホー	京都市下京区	白生地 (紋意匠無地縮緬・紋意匠縮緬)、後染反物 (本加賀訪問着)、先染反物 (大島紬)、先染帯地 (袋帯)、先染反物 (御召)
201	(株) すずのき	東京都品川区	後染反物 (訪問着・色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
202	メーカーズシャツ鎌倉 (株)	神奈川県鎌倉市	ニット (肌着)
203	(株) 丸本岩崎	北海道函館市	裏地 (胴裏絹)
204	(株) 緒方商店 (きもの心おがた)	愛媛県八幡浜市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
205	富士新幸 (株)	山梨県都留市	真綿布団
206	(有) 浅井ローケツ	京都市右京区	後染反物 (色無地・藍染)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
207	(有) 呉服のうめね	北九州市小倉北区	白生地 (変一越)
208	(株) ADESSO (きもの工房一休)	神戸市中央区	白生地 (変一越)
209	森秀織物 (株)	群馬県桐生市	先染反物 (御召)
210	(株) 龍村美術織物	京都市中京区	先染帯地 (本袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
211	(株) 長沼 (長沼静きもの学院)	東京都渋谷区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
212	(株) 国際商事	東京都板橋区	ショール
213	窪田織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬、本場大島紬 12 マルキ)
214	村江菊絵 (菊江) (村江菊絵)	東京都目黒区	先染帯地、先染反物
215	片倉工業 (株)	東京都中央区	ニット (靴下)
216	村田捺染加工 (有)	群馬県桐生市	ストール
217	(株) 京のきもの綾錦	京都市下京区	後染反物 (訪問着、小紋、色無地)
218	あや工房	沖縄県西原町	先染反物 (首里織)、先染帯地 (首里織)
220	万兵 (株)	名古屋市中区	白生地 (表地)
221	横山 (株)	京都市中京区	後染反物 (小紋・訪問着)
222	(株) カネヒサクリエーション	石川県金沢市	白生地 (表地)
223	柳晋哉	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
224	(株) 一声	京都市下京区	白生地 (表地)
225	(株) ヤマノホールディングス きもの事業本部	東京都渋谷区	後染反物 (小紋・訪問着)、白生地 (帯地)
226	山口美術織物 (株)	京都市山科区	白生地 (表地・羽二重)
227	(株) 大醐	名古屋市中区	セリシン靴下、セリシン手袋
228	(株) 中忠商店	京都市上京区	セリシン靴下、セリシン手袋
229	(株) 帛撰	京都市北区	先染帯地 (名古屋帯、袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
230	(株) 京朋	京都市中京区	白生地 (表地)
231	(有) 綵巧	京都市北区	先染反物 (御召)、先染帯地 (名古屋帯 (組帯))
232	ウライ (株)	京都市下京区	後染反物 (小紋)、後染帯地 (袋帯 (表地のみ))
233	大橋メリヤス	群馬県桐生市	ニットストール
234	宮田織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
235	(有) 中彦	京都市上京区	先染反物 (御袷 (五條袷))
236	大月俊幸	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)
237	久保原由佳理	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
238	(株) やしま	広島県広島市	白生地 (表地 (紋意匠))
239	(株) 長谷川	京都市上京区	先染反物 (西陣お召)
240	永見 (株)	鳥取県米子市	白生地 (表地 (紋意匠))
241	京都和装 (株)	京都市下京区	白生地 (表地 (紋意匠))

一般財団法人大日本蚕糸会活動日誌 No. 70 (R3.4.1 ~ R3.6.30)

新型コロナウイルスの影響のため、4月25日～6月20日（東京都）まで緊急事態宣言が発出された。

月日	活 動 内 容 等
4 / 8	令和3年度全国シルクビジネス協議会幹事会（WEB 会議）
4 / 9	第9回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール審査会（WEB 会議）
4 / 16	若手農家との意見交換会（WEB 会議）
4 / 23	第1回蚕糸褒賞等選考委員会（貞明皇后研究助成の選考、WEB 会議）
5 / 10	第1回超極細高染色性繭・生糸の普及促進検討会 （全国シルクビジネス協議会の農林水産省補助事業関係、WEB 会議）
5 / 11	第1回蚕糸絹提携自立化支援事業審査会（WEB 会議）
5 / 25	第2回蚕糸褒賞等選考委員会（受賞者の選考、WEB 会議）
5 / 28	純国産絹マーク審査会（WEB 会議）（2021 年度第1次）
6 / 7	大日本蚕糸会通常理事会
6 / 23	大日本蚕糸会定時評議員会及び臨時理事会

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
一般財団法人北海道開拓の村	004-0006	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1	011-898-2692
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-23-3525
夕鶴の里資料館 語り部の館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025 - 2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
公益財団法人致道（ちどう）博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10 - 18	0235-22-1199
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17 - 95	0234-31-0095
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
結城市伝統工芸館	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018 - 1	0296-32-7949
紬の里	307-0001	茨城県結城市結城 2515	0296-32-8002
本場結城紬郷土館	307-0000	茨城県結城市浦町 116	0296-32-2121
本場結城紬染織資料館「手緒里」	307-0001	茨城県結城市結城 12-2	0296-33-3111
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
おやま本場結城紬クラフト館	323-0023	栃木県小山市中央町 3-7-1 ロブレビル 1F	0285-32-6477
足利織物伝承館	326-0814	栃木県足利市通 3-2589	0284-22-3004
足利まちなか遊学館	326-0814	栃木県足利市通 1-2673-1	0284-41-8201
足利織姫神社	326-0817	栃木県足利市西宮町 3889	0284-22-0313
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5 - 1	0287-36-0949
高崎市歴史民俗資料館	370-0027	群馬県高崎市上滝町 1058	027-352-1261
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫 992 - 1（群馬の森公園内）	027-346-5522
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344 - 1235	027-340-6060
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
富岡製糸場	370-2316	群馬県富岡市富岡 1 - 1	0274-64-0005
群馬県立世界遺産センター	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450 - 1	0274-67-7821
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地（敷島公園バラ園内）	027-231-9875
織物参考館“紫（ゆかり）”	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
桐生織物記念館（桐生織物協同組合）	376-0044	群馬県桐生市永楽町 6 - 6	0277-43-2510
コノドント館みどり市大間々博物館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
たくみの里	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-2211
群馬県立世界遺産センター（セカイト）	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450-1	0274-67-7821
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
ちちぶ銘仙館	368-0032	埼玉県秩父市熊木町 28-1	0494-21-2112
秩父ふるさと館	368-0044	埼玉県秩父市本町 3-1	0494-23-7300
きもの芸術館（一般財団法人国際文化きもの学会）	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ～ 8F	03-3400-0286
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3 - 22 - 7	03-3299-2387
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3 - 26 - 2	0424-81-7656
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2 - 24 - 16	042-388-7163
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鍵水 989 - 2	0426-76-4064

名 称	〒	住 所	電 話
八王子市郷土資料館	192-0902	東京都八王子市上野町 33	042-622-8939
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
シルク博物館	231-0023	横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
神奈川県立歴史博物館	231-0006	横浜市中区南仲通 5-60	045-201-0926
相模田名民家資料館	229-1124	相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
小千谷織物工房 小千谷織物同業協同組合	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25 小千谷市総合産業会館サンプラザ内	0258-83-2329
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25	0258-83-4800
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
塩沢つむぎ記念館 (織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227 - 14	0257-82-4888
白山工房 (織りの資料館)	920-2501	石川県白山山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1 - 7 - 40	0779-87-1200
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619 - 1	055-269-3399
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
常田館 (絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1 - 10 - 3 笠原工業 (株) 内	0268-22-1230
繊維学部資料館	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内	0268-21-5454
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)	0268-22-1274
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564 - 1	0268-42-2158
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内	0268-41-1800
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
日本司法博物館 (松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196 - 1	0263-47-4515
岡谷蚕糸博物館 (シルクファクトおかや)	394-0021	長野県岡谷市郷田 1 丁目 4 番 8 号	0266-23-3489
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618 - 24	0263-83-3835
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 - 1	0574-28-1110
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109 - 1	0532-52-5265
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
豊橋市民俗資料収蔵室	440-0021	愛知県豊橋市多米町滝の谷 34-1-1	0532-63-2026
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204 - 1	059-293-0010
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織物文化館	601-1123	京都市左京区静海市原町 265 川島織物セルコン内	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
(公財) 手織技術振興財団・織成館	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
千總ギャラリー	604-8166	京都市中京区御倉町 80 番地千總本社ビル 2 階	075-211-2531
絹の白生地資料館	604-8176	京都市中京区龍池町 448 - 2 伊と幸ビル	075-254-5884
まゆ村	616-8384	京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内	0773-43-1050

名 称	〒	住 所	電 話
織元田勇	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112 田勇機業（株）内	0772-72-0307
上垣守国（うえがきもりくに）養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246 - 2	079-669-1580
デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)	651-0082	神戸市中央区小野浜町 1-4	078-325-2201
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
藤村製絲記念館	781-6402	高知県安芸郡奈半利町乙 2630	0887-38-4711
美馬蚕糸会館	771-2107	徳島県美馬市美馬町谷口 5-1	0883-63-2502

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp>

【蚕糸絹業関係団体】

(一財) 大日本蚕糸会
(一財) 大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター
(一社) 日本絹人繊維物工業会
(一財) 日本真綿協会
丹後繊維工業組合
西陣織工業組合
TAFS (東京繊維物卸商業組合)
KOMOS (京都繊維物卸商業組合)
(公財) 京都和装産業振興財団
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会
蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://www.kinujinsen.com>
<http://www.mawata.or.jp>
<http://www.tanko.or.jp>
<http://www.nishijin.or.jp>
<http://www.tafs.or.jp>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougeihin.jp>
<http://takaraginu.com>

【大学・試験研究機関】

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 <http://www.naro.affrc.go.jp>
(国) 北海道大学応用分子生物学分野応用分子昆虫学研究室 <http://www.agr.hokudai.ac.jp/rfoa/abs/abs2-1.html>
(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース応用昆虫研究室 <http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department2/agri/life.html>
(国) 宇都宮大学農学部分子昆虫学研究室 <http://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/insectbiotechnology/>
(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室 <http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>
(国) 東京農工大学農学部生物生産学科蚕学研究室 <http://www.tuat.ac.jp/~kaiko>
(国) 東京農工大学工学部生命工学科 <http://www.tuat.ac.jp/~seimei>
(国) 名古屋大学農学部 <http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>
(国) 信州大学繊維学部 <http://www.tex.shinshu-u.ac.jp>
(国) 京都工芸繊維大学工芸科学部応用生物学課程 <http://www.bio.kit.ac.jp>
(国) 鳥取大学農学部生物資源環境学科昆虫機能学教育研究分野 <http://muses.muses.tottori-u.ac.jp>
(国) 山口大学農学部生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>
(国) 九州大学大学院生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sangaku>
(国) 九州大学大学院農学研究院遺伝子資源開発研究センター家蚕遺伝子開発分野 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sanshi/insect/top.html>
群馬県蚕糸技術センター <http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html>
群馬県繊維工業試験場 <http://www.pref.gunma.jp/07/p20210013.html>
京都府繊維・機械金属振興センター <http://www.pref.kyoto.jp/oriki>
(地独) 京都市産業技術研究所 <http://www.tc-kyoto.or.jp>
(公財) 衣笠繊維研究所 <http://krf-textile.com>
(一財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 <http://www.silk.or.jp>

【学会】

日本シルク学会 <http://jsst.sakura.ne.jp>
(一社) 日本蚕糸学会 <http://jsss.or.jp>
日本野蚕学会 <http://jswsmo.appspot.com>

【博物館】

(一財) シルクセンター-国際貿易観光会館 シルク博物館 <https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>
群馬県立日本絹の里 <http://www.nippon-kinunosato.or.jp>
愛媛県西予市野村シルク博物館 <http://www.city.seiyo.ehime.jp/soshiki/silkmuseum>
東京農工大学科学博物館 <http://www.tuat.ac.jp/~museum>

【博物館】

駒ヶ根シルクミュージアム
織成館（京都市上京区）
高崎市染料植物園
群馬県立歴史博物館
岡谷蚕糸博物館（シルクファクトおかや）
はたや記念館ゆめおーれ勝山
美馬蚕糸館

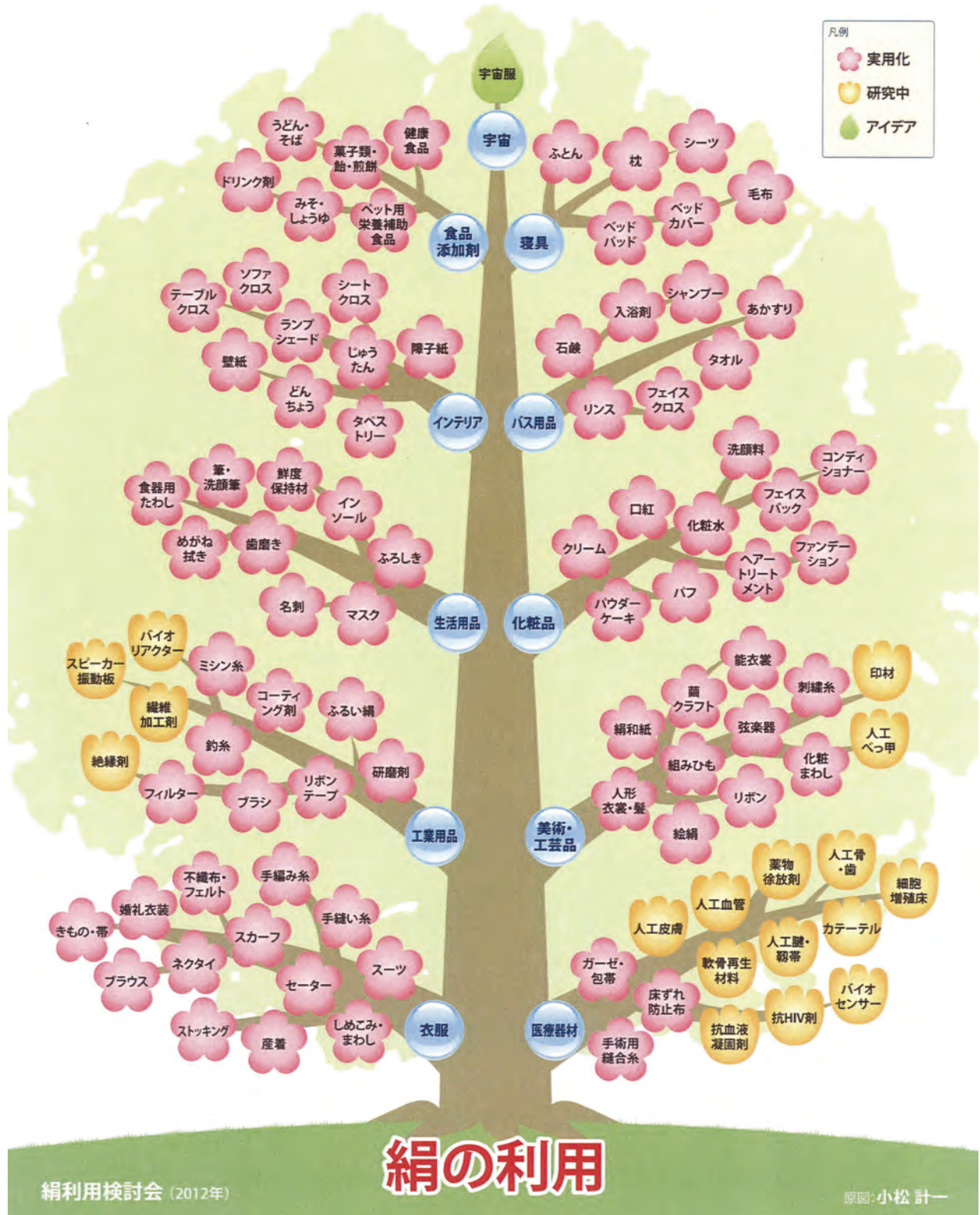
<http://komagane-silk.com/>
<http://orinasukan.skr.jp>
<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2014011400979>
<http://grekisi.pref.gunma.jp>
<http://silkfact.jp>
<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya>
<https://mimasanshikan.wixsite.com/mimasanshikan>

【富岡製糸場と絹産業遺産群】

富岡製糸場
群馬県立世界遺産センター
ぐんま絹遺産
上毛新聞社関連記事

<http://www.tomioka-silk.jp/hp/index.html>
<https://worldheritage.pref.gunma.jp/whc/>
<http://worldheritage.pref.gunma.jp/kinuisan>
http://jomo-news.co.jp/ns/series/silk_index.html

絹利用の系統樹



統計資料の年間掲載計画

＜国内＞	1月号	4月号	7月号	10月号
(1) 蚕糸絹業の概要	○	○	○	○
(2) 養蚕農家数	○	○	○	○
(3) 繭生産数量の推移	○	○	○	○
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		○		
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量		○		
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移		○		
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	○	○	○	○
(8) 生糸の織度別生産数量の推移		○		○
(9) 絹需給の推移(生産量換算試算)	○	○	○	○
(10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		○		
(11) 製糸工場の原料繭需給	○	○	○	○
(12) 製糸工場の操業状況	○	○	○	○
(13) 生糸在庫数量の内訳	○	○	○	○
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況		○		
(15) 生糸の原産国別輸入数量		○		○
(16) 絹糸の原産国別輸入数量		○		○
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		○		○
(18) 絹織物生産数量	○	○	○	○
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	○	○	○	○
＜海外＞				
(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	○	○	○	○
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量		○		
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	○	○	○	○

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	38
(2) 養蚕農家数の推移	39
(3) 繭生産数量の推移	40
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量	
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移	
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	41
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	
(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	42
(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	
(11) 製糸工場の原料繭需給	43
(12) 製糸工場の操業状況	44
(13) 生糸在庫数量の内訳	45
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	
(15) 生糸の原産国別輸入数量	
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	
(18) 絹織物生産数量	46
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	47

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	49
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	50

一 資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item 暦年 Calendar Year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
2000	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2001	2,730	1,031	378	7.2	8	63	56.8	29,801
2002	2,360	880	373	6.5	17	68	51.2	26,826
2003	2,070	780	377	4.8	14	64	48.7	23,935
2004	1,850	683	369	4.4	13	62	45.6	21,895
2005	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2006	1,345	505	375	2.0	9	82	41.6	18,507
2007	1,169	433	370	1.8	8	83	40.0	15,466
2008	1,021	382	374	1.6	6	80	38.1	14,043
2009	915	327	357	1.2	6	60	33.6	9,955
2010	756	265	351	0.9	7	49	35.9	3,611
2011	627	220	351	0.7	7	52	34.7	3,152
2012	571	202	354	0.5	7	35	33.3	2,912
2013	486	168	346	0.4	9	35	32.0	2,940
2014	393	149	379	0.4	9	35	—	2,734
2015	368	135	367	0.4	8	30	—	2,316
2016	349	130	372	0.3	8	26	—	2,243
2017	336	125	372	0.3	8	28	—	2,195
2018	293	110	375	0.3	8	46	—	2,113
2019	264	92	348	0.3	8	36	—	1,939
2020	228	80	351	0.2	8	31	—	—
前年比(%) 2020/2019	86.4	87.0	100.7	66.7	100.0	86.1	—	—

資料 ・ 2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。

・ 2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(一財)大日本蚕糸会調査、2011年以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。

・ 2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。

・ 2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は(一社)日本絹人織機工業会調査である。

(注) 2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・ Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)

・ National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation

(Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)

・ Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009)

The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)

・ The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's

Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)

(Unit: number)

項 目 年 間 春 蚕 初秋蚕 晩秋蚕 暦 年 Annual total Spring silk-worm Early autumn silk-worm Late autumn silk-worm	Item	Annual total	Spring silk-worm	Early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm
Calendar Year					
2000		3,280	2,970	2,170	2,700
2001		2,730	2,410	1,870	2,270
2002		2,360	1,992	1,720	1,918
2003		2,070	1,875	1,503	1,751
2004		1,850	1,621	1,371	1,551
2005		1,591	1,420	1,061	1,345
2006		1,345	1,215	852	1,102
2007		1,169	1,052	726	988
2008		1,021	929	613	857
2009		915	814	647	755
2010		756	650	494	637
2011		627	562	358	531
2012		571	514	319	462
2013		486	422	260	399
2014		393	359	230	328
2015		368	323	221	313
2016		349	310	209	310
2017		336	307	201	280
2018		293	254	179	262
2019		264	233	153	224
2020		228	204	129	188
前年比(%)					
2020/2019		86.4	87.6	84.3	83.9

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年）（一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

項 目 Item 暦 年 Calendar Year	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
	年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕	年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕
	Annual total	Spring silk-worm	Early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm	Annual total	Spring silk-worm	Early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157
2001	1,031	391	275	365	378	162	147	161
2002	880	330	231	320	373	166	134	167
2003	775	313	210	253	374	167	140	144
2004	675	256	176	243	369	158	128	157
2005	626	243	165	218	396	171	156	162
2006	505	209	122	173	375	172	143	157
2007	433	175	110	148	371	166	152	150
2008	382	147	96	139	374	158	157	162
2009	327	124	85	118	357	152	131	156
2010	265	107	60	98	351	165	121	154
2011	220	95	49	76	351	169	136	143
2012	202	79	50	73	354	155	156	159
2013	168	61	41	67	346	145	158	168
2014	149	55	36	58	379	153	157	176
2015	135	49	32	54	368	151	147	174
2016	130	47	32	50	372	153	155	162
2017	125	47	29	49	372	153	144	175
2018	110	41	24	46	375	161	134	176
2019	92	35	22	35	355	153	144	158
2020	80	31	19	30	350	151	148	158
前年比 (%) 2020/2019	87.0	88.6	86.4	85.7	98.5	98.8	102.9	99.8
2020年 構成比 (%)	100.0	38.8	23.8	37.5				

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年） （一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

項 目 Item 年 月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量 Production (A)	輸入数量 Imports (B)	輸出数量 Exports (C)	国内引渡数量 Domestic Deliveries (D)	期末在庫数量 Ending Stocks (E)	輸入数量 Imports (F)	輸出数量 Exports (G)	輸入数量 Imports (H)	輸出数量 Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2010	882	12,207	595	13,220	3,329	16,306	324	8,930	6,302
2011	731	9,323	578	10,349	2,456	17,526	427	8,422	6,229
2012	506	10,032	419	10,274	2,180	16,179	320	7,218	5,545
2013	409	9,332	292	9,919	1,712	15,844	426	6,662	5,431
2014	446	8,235	14	8,726	1,653	14,820	330	6,098	5,125
2015	378	6,479	0	7,194	1,410	14,051	302	5,468	5,085
2016	317	6,548	0	6,869	1,406	12,094	177	5,207	4,940
2017	339	7,560	1	7,557	1,747	14,560	245	4,897	4,785
2018	339	5,038	1	5,793	1,330	11,092	213	4,151	4,854
2019	269	4,852	4	5,018	1,429	10,920	165	3,893	4,750
2020	203	2,443	0	3,009	1,066	6,226	167	2,551	3,635
2019 - 1	25	382	0	382	1,355	855	18	486	362
2	27	358	3	399	1,338	644	16	172	365
3	26	870	0	710	1,524	920	5	266	484
4	18	1	1	264	1,278	937	23	305	444
5	19	595	0	464	1,428	1,033	19	310	369
6	22	301	0	307	1,444	834	8	359	389
7	23	392	0	418	1,441	922	14	395	417
8	11	427	0	430	1,449	1,104	12	280	378
9	28	390	0	496	1,371	932	8	325	380
10	21	386	1	301	1,476	911	12	278	406
11	24	446	0	530	1,416	974	12	330	404
12	25	304	0	316	1,429	855	19	387	351
2020 - 1	20	549	0	588	1,410	1,178	15	341	275
2	23	124	0	166	1,391	303	41	139	378
3	19	682	0	750	1,342	962	37	262	398
4	23	—	0	134	1,231	662	15	233	307
5	16	280	0	242	1,285	854	10	244	223
6	14	209	0	146	1,362	422	3	169	227
7	15	24	0	97	1,304	283	11	256	268
8	11	55	0	100	1,270	249	4	121	239
9	9	73	0	151	1,201	308	4	214	333
10	16	101	0	142	1,176	215	7	181	346
11	15	63	0	149	1,105	305	11	247	333
12	22	283	0	344	1,066	487	9	146	308
2021 - 1	11	123	0	141	1,059	428	6	273	286
2	14	118	0	175	1,016	504	4	199	299
3	16	371	0	414	989	339	7	223	379
4	5	5	0			451	5	253	363

資料：(A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局（～2010.3） 中央蚕糸協会及び日本生糸問屋協会（2010.4～2012.11）

中央蚕糸協会（2012.12～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～）(B) (F) (G) (H) (I) 財務省関税局

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

3. (D) と (E) は2012年11月までと同年12月以降調査方法が変更したため連続性はない。

Source：(A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（～2010.3）、Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association（2010.4～2012.11）、Central Raw Silk Association（2012.12～2018.10）. The Dainippon Silk Foundation（2018.11～）
(B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries (D) = {Stock at end of the previous month + (A) + (B)} - {(C) + (E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import						輸 出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③		
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second				
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45
2016	240	45	0	195	7	12	14	162	195	15	0	0	9	6	180	45
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45
2019	206	45	0	161	5	11	8	137	161	25	0	0	10	15	136	45
2020	182	45	0	137	2	6	6	123	137	27	0	0	8	19	110	45
前年比(%) 2020/ 2019	88	100	—	85	41	55	75	90	85	107	—	—	80	127	81	100

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報

備考：2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

(11) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
2010		240	299	263
2011		189	162	237
2012		185	209	183
2013		142	137	188
2014		128	158	158
2015		116	159	115
2016		115	110	120
2017		103	120	103
2018		92	117	78
2019		89	97	70
2020		72	73	69
2019 -	1	2	9	71
	2	0	10	61
	3	0	9	52
	4	0	7	45
	5	0	7	38
	6	18	8	48
	7	13	8	53
	8	14	4	63
	9	0	9	54
	10	22	8	68
	11	16	9	75
	12	4	9	70
2020 -	1	0	7	63
	2	0	8	55
	3	0	7	47
	4	1	8	40
	5	0	5	35
	6	14	5	44
	7	12	5	51
	8	13	5	59
	9	3	3	59
	10	24	6	77
	11	5	6	76
	12	1	8	69
2021 -	1	0	4	65
	2	0	4	60
	3	0	5	54

資料：農林水産省生産局（～2010. 3）中央蚕糸協会及び（社）日本生糸問屋協会（2010. 4～2012. 11）

中央蚕糸協会（2012. 12～2018. 10）（一財）大日本蚕糸会（2018. 11～）

備考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（～2010. 3）.

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association（2010. 4～2012. 11）.

Central Raw Silk Association（2012. 12～2018. 10）. The Dainippon Silk Foundation（2018. 11～）

Remarks：1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況
Activities of Reeling Mills

項目 Item 年 月 Year & Month	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
		運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year						
2010	7	118	58	49	247	73
2011	7	110	57	52	252	65
2012	7	110	39	35	243	56
2013	9	110	38	35	249	57
2014	9	110	38	35	261	58
2015	8	110	33	30	263	53
2016	8	110	29	26	267	55
2017	8	110	31	28	266	59
2018	8	74	34	46	253	57
2019	8	74	27	36	239	51
2020	8	74	23	31	218	48
2019 - 1	7	74	36	49	20	56
2	6	74	36	49	20	52
3	7	74	34	46	21	56
4	6	74	21	28	20	42
5	6	74	19	26	21	42
6	7	74	26	35	21	45
7	7	74	23	31	18	46
8	7	74	14	19	17	45
9	7	74	32	43	21	51
10	8	74	28	38	20	54
11	8	74	31	42	20	54
12	7	74	28	38	20	51
2020 - 1	7	74	32	43	19	50
2	7	74	26	35	20	49
3	7	74	27	36	22	49
4	7	74	29	39	20	50
5	7	74	27	36	15	50
6	8	74	19	26	14	53
7	8	74	17	23	22	52
8	6	74	17	23	14	38
9	6	74	15	20	19	37
10	6	74	9	12	22	37
11	7	74	27	36	14	48
12	7	74	28	38	17	48
2021 - 1	6	74	16	22	14	38
2	6	74	21	28	14	38
3	6	74	21	28	18	35

資料：農林水産省生産局(～2010. 3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010. 4～2012. 11)

中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

備考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010. 3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010. 4～).

Central Raw Silk Association(2012. 12～2018. 10). The Dainippon Silk Foundation (2018. 11～)

Remarks：1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位 : 60kg俵)

(Unit : Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers
暦 年 Calendar Year					
2010		3,329	319	2,354	656
2011		2,456	288	1,651	517
2012		2,180	124	2,056	
2013		1,712	110	1,602	
2014		1,653	78	1,575	
2015		1,410	94	1,316	
2016		1,406	130	1,276	
2017		1,747	156	1,591	
2018		1,330	230	1,100	
2019		1,429	238	1,191	
2020		1,066	178	888	
2019 -	1	1,355	230	1,125	
	2	1,338	246	1,092	
	3	1,524	239	1,285	
	4	1,278	236	1,042	
	5	1,428	239	1,189	
	6	1,444	245	1,199	
	7	1,441	242	1,199	
	8	1,449	238	1,211	
	9	1,371	239	1,132	
	10	1,476	233	1,243	
	11	1,416	238	1,178	
	12	1,429	238	1,191	
2020 -	1	1,410	196	1,214	
	2	1,391	178	1,213	
	3	1,342	178	1,164	
	4	1,231	186	1,045	
	5	1,285	194	1,091	
	6	1,362	181	1,181	
	7	1,304	181	1,123	
	8	1,270	180	1,090	
	9	1,201	170	1,031	
	10	1,176	166	1,010	
	11	1,105	168	937	
	12	1,066	178	888	
2021 -	1	1,059	182	877	
	2	1,016	183	833	
	3	989	189	800	

資料 : 農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～2012.11).

Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

(18) 絹織物生産数量
Production of Silk Fabrics

(単位：1,000m²)
(Unit: 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics		総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
			広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
			計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	
年 月 Year & Month										
暦 年 Calendar Year										
2010		3,611	1,379	871	66	442	1,538	630	908	694
2011		3,152	1,438	786	62	591	1,003	562	441	711
2012		2,912	1,357	738	54	565	879	429	449	677
2013		2,940	1,428	813	46	569	809	397	412	703
2014		2,734	1,441	803	40	599	665	298	367	628
2015		2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458
2016		2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449
2017		2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422
2018		2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384
2019		1,939	1,128	583	43	502	521	242	279	290
2020		1,214	697	460	15	222	364	169	195	153
2019 -	1	156	89	46	4	39	41	19	22	26
	2	171	97	52	4	42	45	22	22	29
	3	163	92	52	4	36	45	22	24	26
	4	175	100	55	3	42	46	23	23	29
	5	175	107	50	3	55	44	20	24	24
	6	166	95	50	4	41	46	21	25	26
	7	164	95	50	4	41	44	21	23	25
	8	135	78	41	4	33	38	17	21	19
	9	149	85	44	3	38	41	18	24	23
	10	163	96	49	3	44	45	21	24	22
	11	166	100	47	4	50	45	20	24	21
	12	156	94	48	3	43	42	19	23	20
2020 -	1	132	75	42	2	31	37	16	21	19
	2	136	75	43	2	29	40	19	21	21
	3	145	81	48	2	31	43	19	24	22
	4	136	78	44	2	31	40	20	20	18
	5	102	64	37	1	26	24	12	13	13
	6	99	64	33	2	29	25	11	14	11
	7	103	69	33	0	35	25	11	14	9
	8	89	59	32	0	27	21	9	12	9
	9	102	64	35	0	28	27	14	14	12
	10	106	66	36	1	29	27	12	15	13
	11	111	74	38	1	34	28	12	15	9
	12	116	74	37	1	35	29	12	17	13
2021 -	1	87	56	38	1	18	22	6	16	9
	2	91	59	40	0	18	23	7	16	9
	3	95	57	43	1	13	26	7	19	12
	4	103	64	50	0	13	26	8	18	14

資料：(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8～)

備考：絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

Source: Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6).Ministry of Economy,Trade,and Industry,Current Production Statistics(2020.8～)

Remarks: Spun and mixed fabrics included .Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2010	3,611	36.3	515,721	102.5	84,023	110.0	859,244	115.1
2011	3,152	87.3	475,989	92.3	70,803	84.3	692,943	80.6
2012	2,912	92.4	451,503	94.9	62,910	88.9	645,679	92.9
2013	2,940	101.0	433,451	96.0	55,792	88.7	630,586	97.7
2014	2,734	93.0	400,192	92.3	53,174	95.3	600,917	95.3
2015	2,316	84.7	351,309	87.8	41,893	78.8	526,417	87.6
2016	2,243	96.8	310,271	88.3	38,063	90.9	488,144	92.7
2017	2,195	97.9	294,451	94.9	36,227	95.2	477,594	97.8
2018	2,113	96.3	282,158	95.8	36,316	100.2	426,796	89.4
2019	1,939	91.8	253,429	89.8	27,584	76.0	380,224	89.1
2020	1,214	62.6	154,333	60.9	10,852	39.3	260,360	68.5
2019 - 1	156	92.9	15,850	91.5	2,510	83.5	31,925	91.0
2	171	97.7	24,978	99.7	2,783	95.6	32,095	89.1
3	163	92.6	21,859	93.5	2,728	82.9	34,578	85.6
4	175	92.1	23,299	90.2	2,616	80.7	33,794	80.9
5	175	93.1	14,796	70.7	2,526	75.5	33,197	87.7
6	166	85.6	25,926	94.9	2,523	89.5	34,972	99.6
7	164	96.5	21,364	84.7	2,364	70.0	28,371	87.6
8	135	86.0	16,997	87.1	1,808	69.0	28,344	95.1
9	149	95.5	24,336	95.6	2,194	81.0	34,001	114.8
10	163	89.6	19,204	83.8	2,007	64.0	28,356	72.5
11	166	91.7	22,989	91.3	1,849	60.7	30,119	92.2
12	156	88.1	21,831	90.9	1,676	59.6	30,678	83.0
2020 - 1	132	84.6	15,165	95.7	1,259	50.2	24,411	76.5
2	136	79.5	21,802	87.3	1,707	61.3	26,233	81.7
3	145	89.0	17,996	82.3	1,792	65.7	28,783	83.2
4	136	77.7	18,393	78.9	1,172	44.8	20,179	59.7
5	102	58.3	12,661	85.6	669	26.5	11,341	34.2
6	99	59.6	9,326	36.0	690	27.3	21,317	61.0
7	103	62.8	8,532	39.9	361	15.3	18,561	65.4
8	89	65.9	7,147	42.0	613	33.9	16,344	57.7
9	102	68.5	10,011	41.1	451	20.6	20,505	60.3
10	106	65.0	10,443	54.4	645	32.1	24,142	85.1
11	111	66.9	11,523	50.1	874	47.3	24,658	82.2
12	116	74.4	11,334	51.9	619	36.9	24,280	79.1
2021 - 1	87	65.9	9,930	65.5	773	61.4	19,619	80.4
2	91	66.9	11,810	54.2	910	53.3	20,969	81.0
3	95	65.5	11,526	64.0	1,129	63.0	26,690	92.8
4	103	75.7	14,265	77.6	755	64.4	25,705	129.1
5			11,586	91.5	952	142.3		

資料 : 絹織物生産数量は(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計 (2020.8～)

主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備考 : 西陣は京都府織布生産動態調査数値の修正により前年比が合わない場合がある。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6). Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

The numbers of Production and Shipments of 3major producing areas are reported by their local unions.

Remarks : Ratio to previous year in Nishijin may become incorrect if there is a correction in the statistical survey on the production dynamics of woven fabrics in Kyoto prefecture.

蚕の一生



協力:シルク博物館

一般財団法人 大日本蚕糸会

一 資料・海外一

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2015年	2016年	2017年
		トン	トン	トン
日本	Japan	135	130	125
中国	China	628,000		
インド	India	151,787	155,688	161,684
ウズベキスタン	Uzbekistan	27,237		
イラン	Iran	12,538		
タイ	Thailand	4,881		
ブラジル	Brazil	2,870	2,913	2,995
ベトナム	Vietnam	2,515		
北朝鮮	North Korea	937		
トルコ	Turkey	75		
ブルガリア	Bulgaria	65		
インドネシア	Indonesia	57		
シリア	Syria	3.0		
主要国の計	Total	831,100	158,731	164,804

区 分		2018年	2019年	2020年
		トン	トン	トン
日本	Japan	110	92	80
中国	China			
インド	India	185,560	185,143	
ウズベキスタン	Uzbekistan			
イラン	Iran			
タイ	Thailand			
ブラジル	Brazil	3,024	3,034	
ベトナム	Vietnam			
北朝鮮	North Korea			
トルコ	Turkey			
ブルガリア	Bulgaria			
インドネシア	Indonesia			
シリア	Syria			
主要国の計	Total	188,694	188,269	80

注 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)及びFAOの統計値を使用し、2016年以降はデータが取れない。

Note Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB),Ministry ofTextiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association(ABRASSEDA).

Others than these countries,based on the data of International Sericulture , however, there is no data available since 2016 Commission (ISC).

(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格

Spot Price of Various Silk Goods

2021年2月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	112.00 ~ 118.50	1,792 ~ 1,896
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	121.25 ~ 140.75	1,940 ~ 2,252
3	玉繭(double cocoon)		101.25 ~ 113.25	1,620 ~ 1,812
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	90.00 ~ 102.00	1,440 ~ 1,632
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	342.50 ~ 361.25	5,480 ~ 5,780
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	346.75 ~ 366.25	5,548 ~ 5,860
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	349.00 ~ 367.25	5,584 ~ 5,876
8	玉糸(doupion silk)	110d	340.00 ~ 355.00	5,440 ~ 5,680
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.21 ~ 44.50	643 ~ 712
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	56.25 ~ 61.00	900 ~ 976
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	46.85 ~ 53.20	750 ~ 851
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	40.88 ~ 44.13	654 ~ 706

注:1元=16円

1 CNY=16 JPY

2021年3月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	116.80 ~ 125.60	1,986 ~ 2,135
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	127.20 ~ 146.20	2,162 ~ 2,485
3	玉繭(double cocoon)		107.00 ~ 118.80	1,819 ~ 2,020
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	92.00 ~ 103.80	1,564 ~ 1,765
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	383.00 ~ 394.00	6,511 ~ 6,698
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	385.60 ~ 396.80	6,555 ~ 6,746
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	384.00 ~ 407.00	6,528 ~ 6,919
8	玉糸(doupion silk)	110d	360.00 ~ 375.00	6,120 ~ 6,375
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	41.10 ~ 45.80	699 ~ 779
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	58.10 ~ 62.40	988 ~ 1,061
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	47.94 ~ 53.28	815 ~ 906
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	39.60 ~ 42.68	673 ~ 726

注:1元=17円

1 CNY=17 JPY

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

2021年4月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	118.50 ~ 128.50	2,015 ~ 2,185
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	129.00 ~ 147.00	2,193 ~ 2,499
3	玉繭(double cocoon)		103.00 ~ 115.00	1,751 ~ 1,955
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	100.00 ~ 110.00	1,700 ~ 1,870
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	386.00 ~ 401.00	6,562 ~ 6,817
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	388.50 ~ 398.50	6,605 ~ 6,775
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	387.50 ~ 410.00	6,588 ~ 6,970
8	玉糸(doupion silk)	110d	360.00 ~ 375.00	6,120 ~ 6,375
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	37.25 ~ 42.25	633 ~ 718
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	55.75 ~ 60.25	948 ~ 1,024
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	46.25 ~ 51.75	786 ~ 880
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	36.75 ~ 40.75	625 ~ 693

注:1元=17円

1 CNY=17JPY

2021年5月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	139.50 ~ 145.50	2,372 ~ 2,474
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	150.00 ~ 164.00	2,550 ~ 2,788
3	玉繭(double cocoon)		115.00 ~ 128.00	1,955 ~ 2,176
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	114.00 ~ 124.00	1,938 ~ 2,108
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	420.00 ~ 433.50	7,140 ~ 7,370
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	425.00 ~ 438.75	7,225 ~ 7,459
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	420.00 ~ 440.00	7,140 ~ 7,480
8	玉糸(doupion silk)	110d	388.75 ~ 406.25	6,609 ~ 6,906
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	38.78 ~ 44.33	659 ~ 754
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	57.03 ~ 61.10	969 ~ 1,039
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	47.00 ~ 52.45	799 ~ 892
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	37.93 ~ 41.95	645 ~ 713

注:1元=17円

1 CNY=17JPY

※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp>

シルクレポート 2021 年 7 月号 No.70 令和 3 年 7 月 1 日発行

編集 / 発行

一般財団法人大日本蚕糸会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

TEL : 03-3214-3500

FAX : 03-3214-3511

URL : <http://www.silk-teikei.jp>

製本 / 印刷

株式会社正大印刷社

無断転載禁ず